

平成 29 年度 相模原市少年野球相武台支部夏季大会

第 36 回相模原市少年野球夏季大会相武台支部予選会

<大会日程>

1. 主将会議 : 平成 29 年 4 月 16 日 (日) 18:00~ (相武台公民館 3 階小会議室)
2. 開会式 : 平成 29 年 4 月 23 日 (日) 12:30~ (もえぎ台小学校)
3. 閉会式 : 平成 29 年 4 月 30 日 (日) 13:15~ (相武台小学校)
4. 会期 : 平成 29 年 4 月 23 日(日)、29 日(土)、30 日(日)
【予備日: 5 月 3 日(水)、4 日(木)、5 日(金)】
5. 試合方式 : リーグ戦(4 チーム総当たり戦)
※雨天等により試合消化状態が悪い場合、トーナメント方式に移行。
6. 試合会場 : 相武台小学校、緑台小学校、もえぎ台小学校

<大会要項>

1. 公認野球規則、全日本軟式野球連盟規定類、同取り決め事項及び大会特別規則を適用する。
2. 開会式での選手宣誓は、主将会議の抽選の前に協議して決定する。
3. 全試合 7 イニング、または 90 分を超えて新しいイニングに入らない。
**ただし、90 分時点で表の回に入っており、後攻チームが負けている場合は、裏の回まで実施する。
同点の場合は特別ルールにて延長戦を行う。(タイブレーク方式)**
4. ホームより両翼 58m と 2 塁ベースからホーム寄り 2m 前より外野に向かって円を描いた地点をホームランラインとする。ホームランを打った選手には記念品を授与する。
5. 得点差によるコールド試合は、3 回以降 10 点差、5 回以降 7 点差を適用する。
雨天等によるコールドは 5 回終了にて成立するものとし、それ以外は、**継続試合**とする。
6. **試合結果が同率一位となった場合、予備日に特別ルールによる試合にて勝敗が決するまで試合を行う。**
ただし、5/5 の予備日最終日の試合会場使用時間帯に勝敗が決まらない場合は、各チームの試合出場者(1 チーム 9 人)による「クジ引き」で勝敗を決める(勝利クジ 1 つ)。
7. **タイブレーク方式は無死満塁、継続打順で行う。(前回の最終打者を 1 塁走者とし、2 塁、3 塁の走者は順次前の打者とする)**
8. 優勝チームが支部代表として、第 36 回相模原市少年野球夏季大会に出場する。
9. 選手交代は監督または当該選手が球審に告げ、交代選手は背番号を球審に見せること。
10. 抗議は監督・当該選手・主将のみとし、それ以外は認めない。
11. ベンチ入りは、監督、コーチ 2 名、選手 20 名以内、チーム代表者 1 名、スコアラー 1 名、マネージャー 1 名とする。但し、熱中症対策等として保護者 2 名以内のベンチ入りを許可する。ベンチ入り選手は 10 名以上 20 名以内とする。
12. メンバー表(4 枚)は、**前の試合の 3 回終了時又は試合開始予定時間の 30 分前のいずれか早い方のタイミング**で本部(バックネット裏)にて交換を行う。
13. **メンバー表への記入は、登録された選手全員を記入すること。**なお、女子選手には背番号数字を丸で囲う。
14. **攻守決定の時に、試合で使用する捕手用ファウルカップ、サングラスを持参し審判による点検を行うこと。**
15. 試合球・ロジンは、支部にて用意したものを使用する。
16. ネットは、バックネットの両サイドも張ることとする。
17. 打順表用紙は規定のものを使用し、氏名にはふりがなをつける。(控え選手はカタカナで記入する)
18. 投手の投球イニング制限については市協会通達を適用する(4 年以上 7 イニング/日まで、3 年以下 5 イニング/日まで) 1 球でも投球したら 1 イニング
19. **4 月 30 日終了時点で、各チーム 2 試合消化出来ていない場合、トーナメント方式に移行する。その場合、前の試合結果は無効とする。**
20. **春季大会で代表シード権を得た場合、当該チーム(3 チーム)総当たり戦で試合を行う。(ダブルヘッ**

ダーあり)

＜注意事項＞

1. 監督は背番号30番、コーチは背番号28・29番のユニホームを着用の事。
2. 試合の審判は、支部審判部と当該チーム以外の審判員で行なう。日程表を参照の事。
3. 各試合会場・校舎内は全て禁煙を厳守する事。
4. 試合終了後、次の試合準備及びベンチ清掃等を行う事。
5. 雨天等の場合は、支部役員・審判部の協議の上、原則として第一試合開始の1時間前に決定する。